



2014年度第2四半期決算説明会

2014年11月13日

東武鉄道株式会社

目次

- ・Ⅰ.2014年度 第2四半期実績 P02

- ・Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進 P16

- ・Ⅲ. 2014年度 通期見通し P32

I. 2014年度 第2四半期実績

連結子会社及び持分法適用会社の異動状況

2014年9月末現在

セグメント	項目	連結子会社	持分法適用会社	計	2014年3月	増減
	運輸	32	2	34	34	
	レジャー	21	2	23	23	
	不動産	4	0	4	4	
	流通	15	3	18	18	
	その他	18	0	18	18	
	計	90	7	97	97	増減なし

(参考)13年度(通期)の決算期変更による影響額

セグメント	項目	社数	影響額(単位:億円)	
			営業収益	営業利益
	運輸	10	40	1
	レジャー	4	12	△1
	不動産	1	8	0
	流通	1	0	0
	その他	6	107	8
	計	22	167	8
	消去	-	△62	△4
	合計	22	105	4

I. 2014年度 第2四半期実績

1 収益力(連結)

(単位:億円)

		14年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増 減	参 考	
		(実績)	(実績)		(計 画)	(対計画)
	営業収益	2,836	2,800	36	2,840	▲4
	営業費用	2,597	2,529	68	2,620	▲23
	営業利益	239	271	▲32	220	19
	経常利益	209	252	▲43	185	24
	四半期純利益	157	158	▲1	125	32

※計画値は14年5月9日発表のものを使用している。(P3~P15)

I. 2014年度 第2四半期実績

2 損益項目の増減要因 (13年度第2四半期→14年度第2四半期)

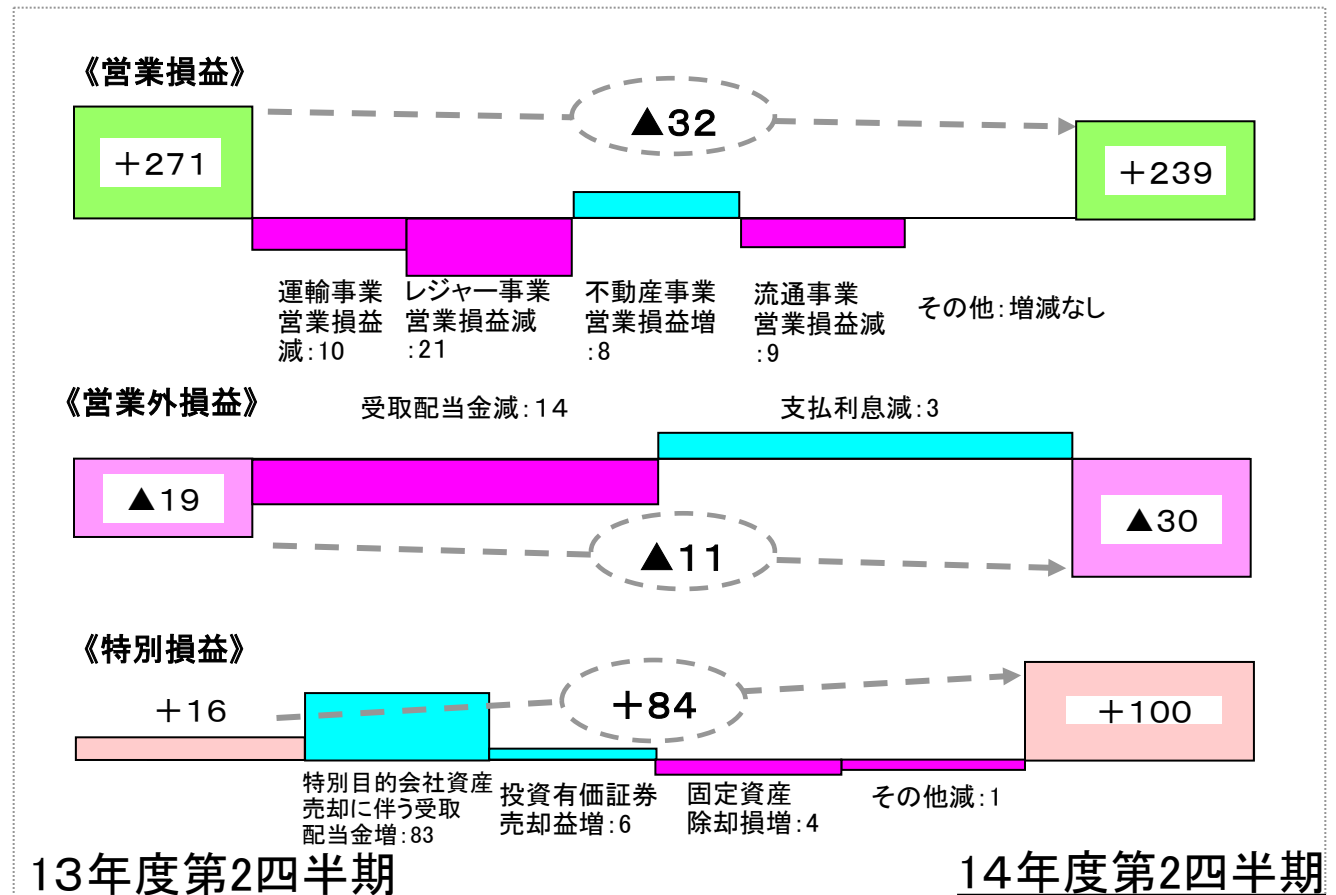
(単位: 億円)

14年度

四半期純利益157億円
(前年同期比: ▲1億円)

営業損益	: ▲32
営業外損益	: ▲11
特別損益	: +84
税金等調整前 四半期純利益	: +41
四半期純利益	: ▲1

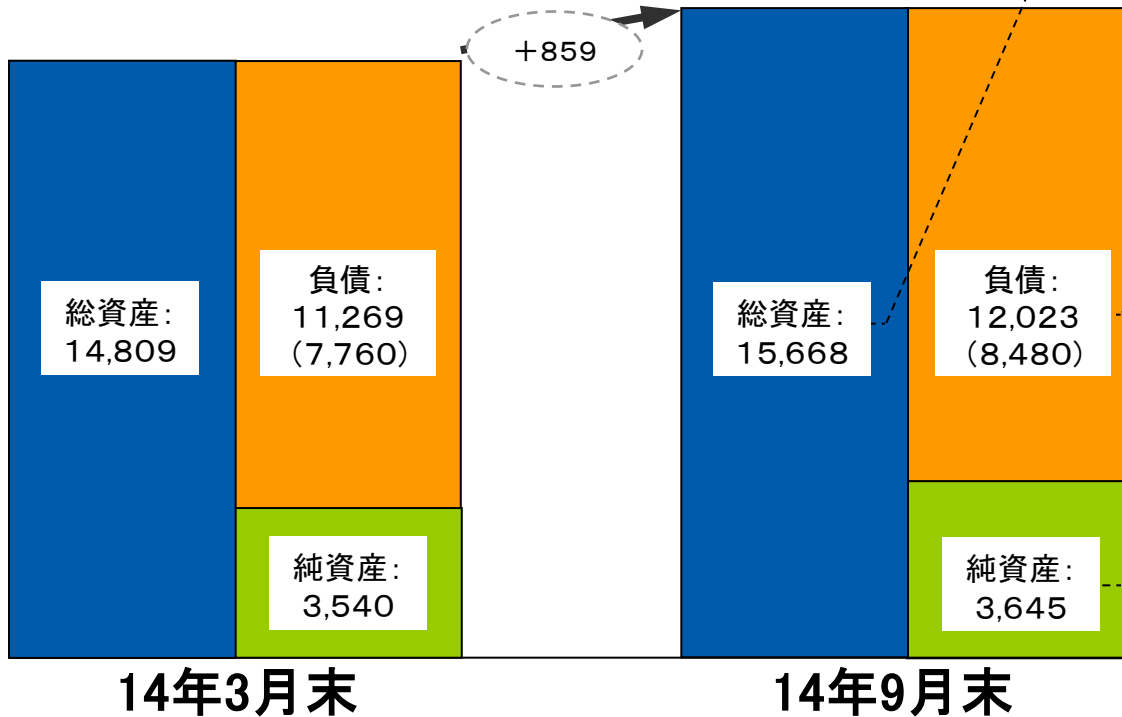
売上高営業利益率
8.4%



I. 2014年度 第2四半期実績

3 総資産の動き (14年3月末→14年9月末)

(単位: 億円)



総資産(14/3末比)	: 859
有形固定資産	: 953
投資有価証券	: 65
その他	: ▲159

負債(14/3末比)	: 754
有利子負債	: 720
(借入金、社債、鉄道運輸機構未払金)	
その他	: 34

純資産(14/3末比)	: 105
利益剰余金	: 44
その他有価証券評価差額金	: 45
その他	: 16

※ カッコ内
負債: 有利子負債残高

I. 2014年度 第2四半期実績

4 キャッシュフロー(連結)

(単位: 億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	増 減	13年度 通期実績
EBITDA	490	523	▲33	1,087
(営業利益)	(239)	(271)	(▲32)	(560)
(減価償却費)	(251)	(252)	(▲1)	(527)
有利子負債残高	8,480	8,023	457	7,760
純工事額	1,291	122	1,169	501

参 考 純工事額のうち、東武百貨店池袋店および船橋店の資産買取価額・・・1,030億円

I. 2014年度 第2四半期実績

5 セグメント別営業利益(連結)

(単位:億円)

	14年度 第2四半期	13年度 第2四半期	増 減	参 考	
	(実 績)	(実 績)		(計 画)	(対計画)
運 輸	149	159	▲10	157	▲8
レジャー	40	61	▲21	51	▲11
不 動 産	33	25	8	2	31
流 通	▲2	7	▲9	▲5	3
そ の 他	17	21	▲4	16	1

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

I. 2014年度 第2四半期実績

《運輸事業》

(単位: 億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	1,062	1,060	2	▲2
鉄道	794	799	▲5	▲5
その他	268	261	7	3
営業費用	913	901	12	6
鉄道	657	657	注1 0	注2 2
その他	256	244	12	4
営業利益	149	159	▲10	▲8
鉄道	137	142	▲5	▲7
その他	12	17	▲5	▲1

主な増減要因

東武鉄道 鉄道業の乗車人員・旅客収入 (単位: 百万人、億円、%)

		14年度	13年度	対前年		14年度	対計画	
		2Q実績	2Q実績	増減	%	2Q計画	増減	%
乗車人員	定期外	153	155	▲2	▲1.2	155	▲2	▲1.0
	定期	294	295	▲1	▲0.4	292	2	0.4
	(特急※)	3	3	0	2.0	3	0	▲0.4
	計	447	450	▲3	▲0.7	447	0	▲0.1
運輸収入	定期外運賃	359	362	▲3	▲0.7	362	▲3	▲0.9
	特急料金	28	27	1	1.4	28	0	▲0.9
	定期運賃	325	329	▲4	▲1.2	325	0	0.2
	計	712	718	▲6	▲0.9	715	▲3	0.4

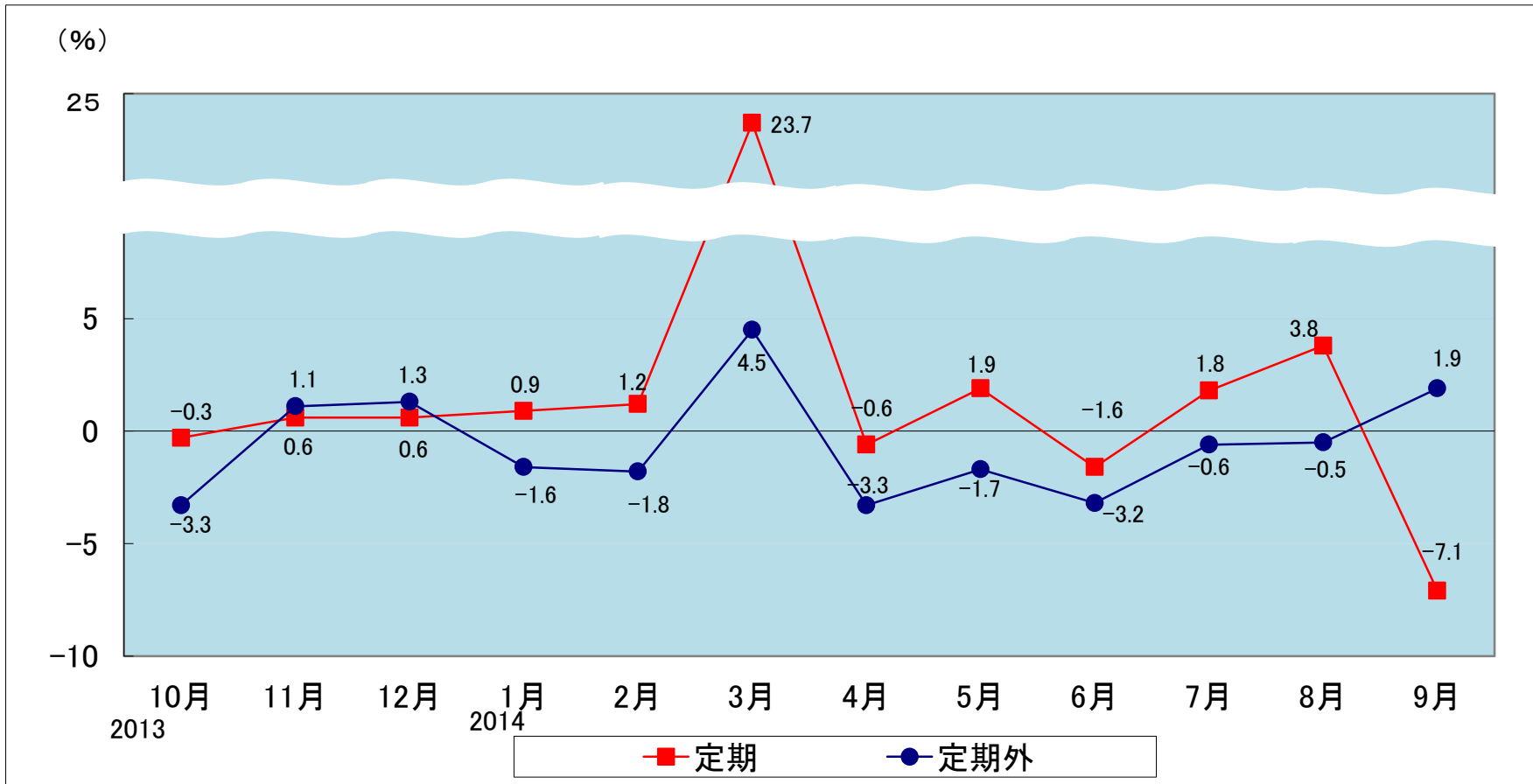
※乗車人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

注1 東武鉄道 鉄道業 物件費 +1
 動力費 +2
 諸税 +1
 減価償却費 ▲6

注2 東武鉄道 鉄道業 動力費 +1
 諸税 +2

I. 2014年度 第2四半期実績

輸送人員(定期・定期外)の増減率の推移(対前年比較)



I. 2014年度 第2四半期実績

《レジャー事業》

(単位:億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	388	341	47	▲25
ホテル	80	82	▲2	▲3
スカイツリー	85	104	▲19	▲11
その他	223	155	68	▲11
営業費用	348	280	68	▲14
ホテル	79	80	▲1	▲2
スカイツリー	45	50	▲5	▲5
その他	224	150	74	▲7
営業利益	40	61	▲21	▲11
ホテル	1	2	▲1	▲1
スカイツリー	40	54	▲14	▲6
その他	▲1	5	▲6	▲4

主な増減要因

主なホテルの状況(実績)

	客室稼働率(%)			婚礼組数(組)		
	14年度2Q	13年度2Q	増減	14年度2Q	13年度2Q	増減
錦糸町	89.4	89.7	▲0.3	72	121	▲49
銀座	93.0	93.2	▲0.2	64	76	▲12
成田	79.9	74.9	5.0	-	-	-

※東京スカイツリー入場者数

14年度2Q実績 約275万人

13年度2Q実績 約327万人

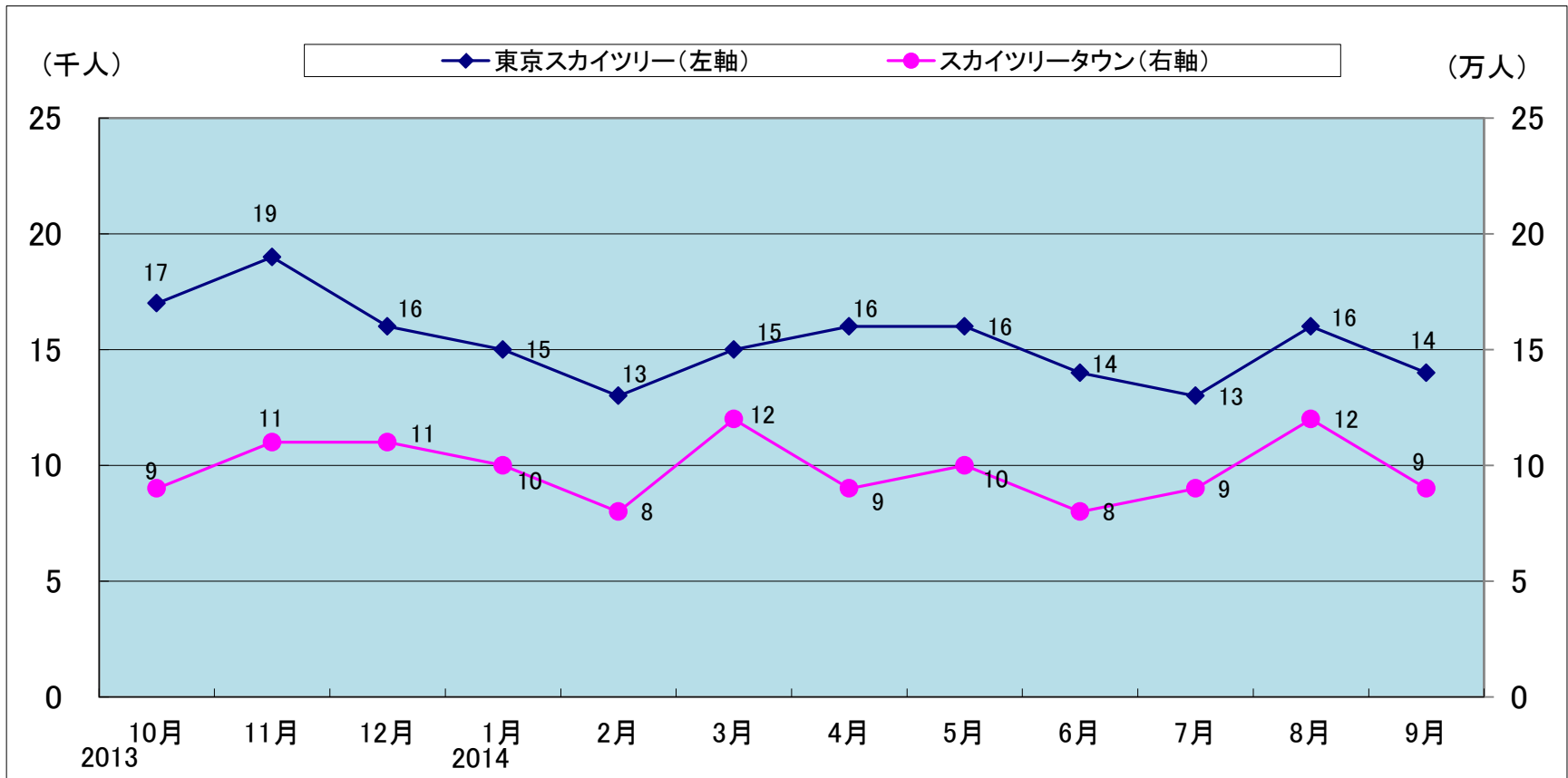
その他のうち、トップツアー

14年度 13年度
2Q実績 2Q実績

営業収益 73 0

I. 2014年度 第2四半期実績

東京スカイツリータウンの一日平均来場者数の推移



I. 2014年度 第2四半期実績

《不動産事業》

(単位: 億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	255	256	▲1	0
賃貸	166	170	▲4	▲5
タウン	65	66	▲1	4
分譲	24	20	4	1
営業費用	222	231	▲9	▲31
賃貸	114	136	注 ▲22	▲9
タウン	54	53	1	1
分譲	54	42	12	▲23
営業利益	33	25	8	31
賃貸	52	34	18	4
タウン	11	13	▲2	3
分譲	▲30	▲22	▲8	24

主な増減要因

分譲販売戸数		単位: 戸				
		14年度 2Q実績	13年度 2Q実績	対前年 増減	14年度 2Q計画	対計画 増減
販売戸数	戸建住宅	2	0	2	10	▲8
	マンション	84	73	11	85	▲1
持分換算後 販売戸数	戸建住宅	2	0	2	10	▲8
	マンション	43	29	14	45	▲2

注

東武百貨店池袋店および船橋店
資産取得の影響

支払賃借料 ▲21
減価償却費 +3

※スカイツリータウン来場者数
14年度2Q実績 約1,743万人
13年度2Q実績 約2,054万人

I. 2014年度 第2四半期実績

《流通事業》

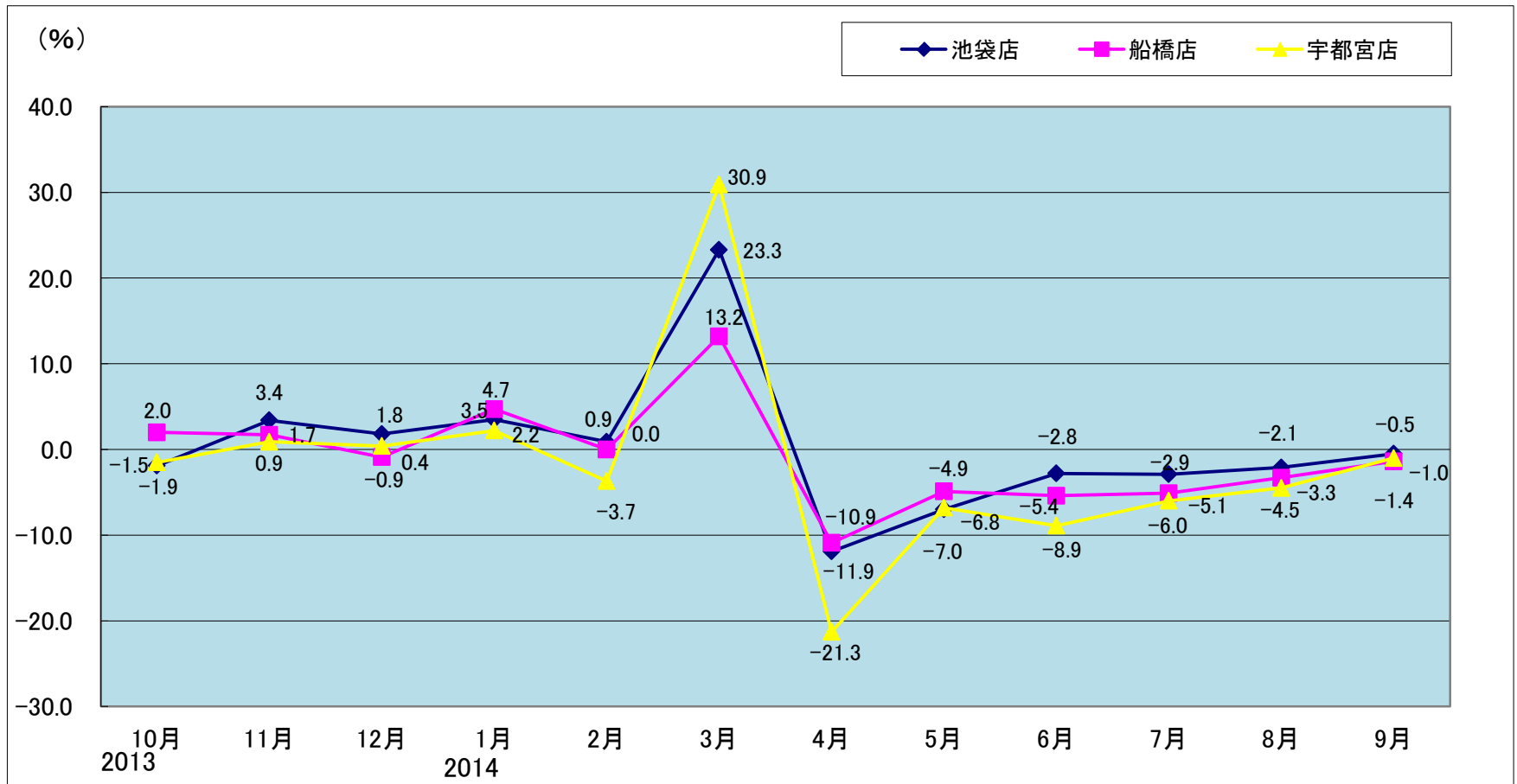
(単位: 億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減
営業収益	1,011	1,012	▲1	7
百貨店	900	900	注1 0	注2 1
その他	111	112	▲1	6
営業費用	1,013	1,005	8	4
百貨店	905	898	7	▲3
その他	108	107	1	7
営業利益	▲2	7	▲9	3
百貨店	▲5	2	▲7	4
その他	3	5	▲2	▲1

主な増減要因	
注1	
池袋店	0
船橋店	▲5
宇都宮店	▲3
栃木店	+8
注2	
池袋店	+4
船橋店	▲1
宇都宮店	▲1
栃木店	▲1

I. 2014年度 第2四半期実績

百貨店売上高の増減率の推移(対前年比較)



I . 2014年度 第2四半期実績

《その他事業》

(単位:億円)

	14年度 第2四半期 (実績)	13年度 第2四半期 (実績)	対前年 増減	対計画 増減	主な増減要因
営業収益	407	420	▲13	26	
営業費用	390	399	▲9	25	
営業利益	17	21	▲4	1	

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 1

鉄道事業の利便性・安全性の向上

東武アーバンパークラインの利便性・快適性の向上

◆新型車両60000系導入

- ・14年度は8編成48両導入予定

◆駅の快適性向上(清水公園駅)

- ・コンコースリニューアル ⇒ 14年6月14日完成
- ・ホームリニューアル ⇒ 14年度完成予定



清水公園駅コンコース

質の高い輸送サービスの提供

◆橋上駅舎化工事の推進

- ・川俣駅 ⇒ 15年度完成予定
- ・岩槻駅 ⇒ 16年度完成予定



川俣駅橋上化
(イメージ図)



岩槻駅橋上化(新設西口)
(イメージ図)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 1

鉄道事業の利便性・安全性の向上

安全性の向上

◆連続立体交差事業推進

(清水公園～梅郷間、竹ノ塚駅付近)

- ・清水公園～愛宕間 ⇒ 高架橋工事推進中
17年度事業完了予定
- ・竹ノ塚駅 ⇒ 高架橋工事推進中
20年度事業完了予定

◆東上線新運転保安システム導入

- ・川越市～小川町間 ⇒ 14年度使用開始予定

◆本線運行管理システム導入

- ・館林・新栃木以南 ⇒ 14年度使用開始予定

◆ホームドア(可動式ホーム柵)導入・推進

- ・柏 ⇒ 15年3月完成予定
- ・和光市、川越 ⇒ 14年度調査設計推進中



竹ノ塚駅付近連続立体交差化事業
(高架橋建設)



船橋駅ホームドア(可動式ホーム柵)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 1

鉄道事業の利便性・安全性の向上

「東武東上線100周年記念イベント」概要

◆東武東上線開業100周年記念セレモニーの実施

- ・8000系特別編成列車が森林公園～池袋間を一往復運行
- ・記念乗車券を限定3,000セット販売したところ即日完売

◆「東武東上線沿線まつり」の開催

- ・東武百貨店池袋店との共同催事
- ・東上線沿線の観光物産展、写真展等を実施

◆セイジクリーム塗装車両の運行

- ・1974年～1985年まで東上線で活躍したセイジクリーム塗装を再現
- ・小川町～寄居間、坂戸～越生間を運行

◆お客さま応募型企画「私の始発駅物語」の募集

- ・お客さまの東上線にまつわるストーリーを募集し、漫画化



記念セレモニーの様子



8000系特別編成列車

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 2

東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

東京スカイツリータウン来場者の維持拡大

◆東京スカイツリータウンの集客促進

『開業2周年イベント』のほか、七夕や夏休み、ハロウィンなど、季節毎のイベントや特別ライティングを実施。現在、『東京スカイツリータウンドリームクリスマス2014』を開催中

◆積極的なテナント入替等の実施

話題性の高いテナントの誘致や共用スペースを活用した催事営業等を積極的に実施

◆東京スカイツリー入場券の販売方法の多様化

天望デッキ日時指定入場券引換券を全国の『セブン-イレブン』で6月1日から販売開始

◆修学旅行の戦略的誘致

優先予約枠の増枠などの誘致施策を展開。上期の修学旅行入場実績が22%増に(前年同期比)

◆海外プロモーションと国内営業強化

台北101連携イベントの開催や香港での国際旅行博出展、国内外旅行会社等へのセールス活動実施



東京スカイツリータウン プロジェクションマッピング(イメージ)



台北101連携イベント関連報道

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 2

東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

東武グループ各社による収益拡大

◆スカイツリー・錦糸町・東京駅間のアクセス向上 〈東武バス〉

『スカイツリーシャトル®東京駅線』(朝夕の一部の便)で、
8月1日から東武ホテルレバント東京(錦糸町)乗り入れを開始

◆トップツアーのネットワークを活用した全国からの送客 〈トップツアー〉

トップツアー全国網を活用しスカイツリーオプション商品強化

・14年1月～8月末 送客実績:31.7%増(前年同期比)

◆浅草EKIMISEや下町散策プランとセットにした 多彩なスカイツリー商品の展開 〈東武トラベル〉

「東京スカイツリーと選べる17コース」「東京スカイツリー&下町散策プラン」など
東京スカイツリーと飲食、周辺観光を組み合わせた商品展開



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 3



沿線の生活価値の向上

◆曳舟駅前病院建設工事の進捗

17年春の病院開業を目指し、12月に着手する予定(延床面積 約9,733㎡)

◆新越谷ヴァリエリニューアル計画

1階食品ゾーンのリニューアル
【開業時期】 14年12月11日(予定)

◆成増南口駅ビル建設計画

駅南口駅ビルの建設と駅橋上店舗の増床リニューアル
【開業時期】 15年度内

◆厚木の新物流センター着工 15年2月末稼働開始予定<東武運輸>

大手食品メーカーの東京・埼玉・神奈川・静岡・大阪・山梨等の総物流を一括受注

◆豊洲ビル建設工事の進捗

15年末の竣工後、データセンターとして賃貸予定(延床面積 約5,080㎡)



成増南口駅ビル建設計画(リニューアル後イメージ)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 3

沿線の生活価値の向上



サブカルチャー等沿線の資源を活かした事業展開

◆「アニ玉祭(アニメ・マンガまつりin埼玉)」への協力 (埼玉県)

- ・とうきょうスカイツリー駅から大宮駅まで
「アニ玉祭トレイン」の運行

◆キャラクタートレインの運行

- ・東上線沿線25自治体イメージキャラクターを掲出したラッピングトレインを新木場、元町・中華街方面まで運行

◆クレヨンしんちゃん(双葉社)とのタイアップ企画

- ・春日部駅からとうきょうスカイツリー駅まで
「クレヨンしんちゃん号」運行
- ・東京スカイツリータウンでのクレヨンしんちゃん
ステージの開催
- ・スタンプラリーの実施・記念乗車券・グッズの発売



キャラクタートレイン



クレヨンしんちゃん号 出発式

©臼井儀人／双葉社

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 3

沿線の生活価値の向上

東武百貨店池袋本店レストラン街リニューアル 進行中

改装範囲:東武百貨店 池袋本店 11階～15階 (営業面積 約11,000㎡)

Good Restaurants

～食べたいものが必ず見つかる池袋のメインダイニング～
“お客様のあらゆるシーンに対応でき、大人が楽しめる
本物志向のレストラン街を目指します”

- 15F SPECIALITY (おもてなしのフロア)
- 14F Mind 30 (池袋になかった高感度なスタイル)
- 13-12F 日本のごちそう (幅広いお客様へ、日本のごちそうを)
グルメパレット (幅広いお客様の様々なシーンを演出)
- 11F INDEX (おでむかえのフロア)

2015年6月～ 順次着工
2016年春 グランドオープン(予定)



14階レストラン街(改装イメージ)

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 3

沿線の生活価値の向上

マンション分譲の状況

◆14年度引き渡し予定戸数および第2四半期までの実績と進捗率

主な物件名	所在地 竣工予定年月	総戸数	14年度 引渡予定 (A)	14年度2Q 引渡実績 (B)	14年度2Q 契約実績 (未引渡) (C)	進捗率 ((B+C)/A)
ソライエ・プレミアムテラス	墨田区 竣工済み	336	112	74	11	75.9%
ブリリアときわ台ソライエレジデンス	板橋区 14年11月	329	280	0	225	80.4%
ソライエR東武サンライト杉戸高野台	杉戸町 竣工済み	68	25	10	8	72.0%

◆販売中の物件(15年度引渡し予定)

主な物件名	所在地 竣工予定年 月	総戸数	14年度2Q 契約実績
ソライエ柏豊四季	柏市 15年8月	91	14

ソライエ柏豊四季



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 3

沿線の生活価値の向上



太陽光発電事業の推進

《 売電収入(見込み) 》〈 東武エネルギーマネジメント 〉

- ・5か所を新設(千葉高田町、真岡八條、南栗橋、田沼駅東側、森林公園検修区南側)
- ・全6か所合計で年間約2億6千万円

《 6か所設備概要 》

- ・設備容量〈太陽光パネル容量〉
6か所合計 6.5Mw
- ・年間発電量
約707万5千kwh
(一般家庭約1,960世帯分)
- ・年間CO2削減量
約3,581トン
(約32万5千本のブナの木を植林したのと同程度の効果)



昨年7月竣工・稼働済み

「葛生太陽光発電所」
(栃木県佐野市)

本年9月竣工・10月稼働済み

「真岡八條
太陽光発電所」
(栃木県真岡市)

本年冬 竣工予定

「東武佐野線田沼駅
東側土地」
(栃木県佐野市)

来年春 竣工予定

「東武鉄道森林公園
検修区南側土地」
(埼玉県滑川町)

本年10月竣工・
稼働済み

「東武南栗橋
太陽光発電所」
(埼玉県久喜市)

本年9月竣工・稼働済み

「千葉高田町
太陽光発電所」
(千葉市緑区)



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進



基本戦略 4

観光戦略の展開

東武トラベル・トップツアー合併

◆合併の目的

○法人営業を基盤とした団体旅行の強化

東武トラベルが強みとする教育旅行・宗教旅行営業、トップツアーが強みとする営業エリア・各種法人営業を融合し、団体旅行の営業力を高める。

○アジアマーケット等を見据えたインバウンド営業の拡充

拡大するアジアマーケットを狙い、新規現地法人の設立等海外ネットワークを充実させ、東京スカイツリー、日光・鬼怒川地区など東武線沿線やグループ全体への送客力を向上。

○ローコストオペレーション体制の構築

仕入部門や本社部門の統合等により間接部門比率の逡減による収益力の向上。

◆合併期日

2015年4月1日（予定）

◆新商号

 +  = **東武トップツアーズ株式会社**

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 4

観光戦略の展開



訪日外国人観光客向け販促活動

◆海外でのインバウンド誘致施策
タイ、マレーシア、シンガポール、
台湾、香港、ベトナムで営業活動強化

◆国内でのインバウンド誘致施策

- ・「東アジア商談会」、「Japan ASEAN+INDIA Travel Mart2014」、
「ツーリズムEXPOジャパン2014」などへの参加
- ・香港メディアトリップ、台湾メディアトリップの実施

◆訪日外国人観光客向け企画券販売促進

案内冊子を羽田空港・成田空港等で配布

◆小江戸川越クーポン販売促進

新宿・池袋周辺の外国人宿泊者の多いホテルを中心に
パンフレットを設置



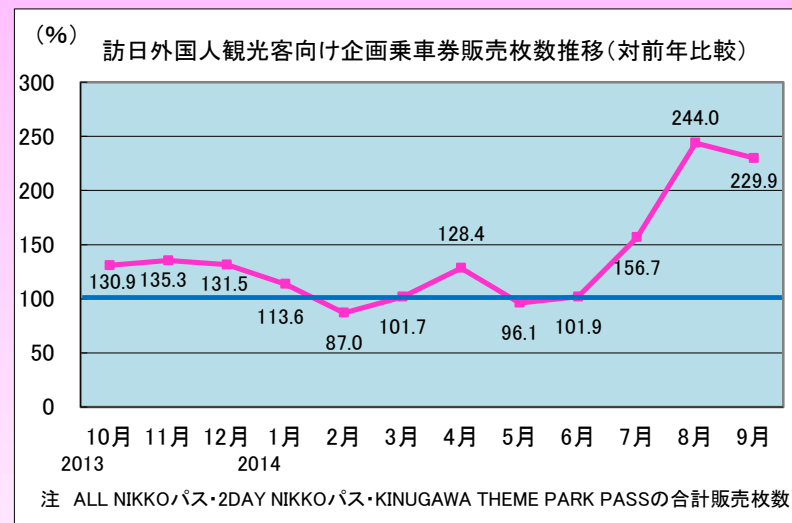
ツーリズムEXPOジャパン2014の様子



第28回香港国際旅行展示会の様子



訪日外国人観光客向けの案内冊子



Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 4

観光戦略の展開



日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出

東武線から世界遺産 富岡製糸場、伊香保温泉・四万温泉への送客

◆「伊香保温泉・四万温泉シャトル」(高速バス)を新設〈関越交通〉

東武伊勢崎線太田駅～富岡製糸場～伊香保温泉・四万温泉間運行のシャトルバスを新設(1日1往復)

◆りょうもう号+シャトルバス +入場券がセットの往復クーポンを発売開始〈東武鉄道、関越交通〉

東武線主要駅～太田間の往復割引乗車券・特急券とシャトルバスと富岡製糸場入場券のクーポンを発売

◆りょうもう号+シャトルバス+入場券と周辺温泉地の宿泊セットプラン発売開始〈東武トラベル〉

往復割引乗車券・特急券とシャトルバスと富岡製糸場入場券に、伊香保・四万温泉の宿泊がセットの旅行商品を発売



富岡製糸場「画像提供 富岡製糸場」



富岡製糸場(内部)「画像提供 富岡製糸場」

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 4

観光戦略の展開



日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出

◆行政や地域などとの 連携による地域活性化



「日光ハイウェイマラソン大会」
参加者募集ポスター

「日光いろは坂女子駅伝大会」への協力

- ・11月30日開催
- ・東西の14大学15チームが参加予定

「日光ハイウェイマラソン大会」への協力

- ・11月29日開催
- ・参加者3,200人(予定)

「東照宮400年式年大祭」(2015年)

に合わせた施策の構築



「日光いろは坂女子駅伝大会」
宣伝広告用ポスター

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 4

観光戦略の展開



日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出

◆日光レークサイドホテルの リニューアル計画の推進

- ・2015年12月末(予定) 営業を一時休止

◆メディア媒体を有効活用した誘客施策

- ・東武鉄道×OZマガジンタイアップ 日光女子旅
- ・東洋大学との連携企画第2弾 りょうもう7市
ご当地グルメマップ



←「りょうもう7市ご当地グルメマップ」ポスター

◆「世界キャラクターさみっと in 羽生2014」に 合わせた列車運行等(11月22日・23日開催) →

- ・特急「りょうもう」の一部を羽生駅に臨時停車
- ・柏駅～春日部駅～羽生駅までの
直通列車を臨時運行



昨年のイベントの様子



日光レークサイドホテル

Ⅱ.「東武グループ中期経営計画」の推進

基本戦略 4

観光戦略の展開



レジャー事業の集客・増収施策

◆新エリア「ハートフルタウン」完成〈東武動物公園〉

- ・14年3月に街をテーマにした「ハートフルタウン」オープン
- ・キッズコースター、キッズバイキング等アトラクション10種類が新登場

ハートフルタウン



◆ウインターイルミネーション開催〈東武動物公園〉

- ・14年11月1日より翌2月15日まで冬の風物詩
イルミネーションを開催
- ・LEDを約200万球へ拡大(昨年約120万球)
- ・音楽に合わせてリズムカルに光が踊りだす新たな演出

ウインターイルミネーション(イメージ)



◆屋内型新施設「ヒストリウムシアター結(ゆい)」完成〈東武ワールドスクウェア〉

- ・14年4月にデジタル型映像ホールをオープン
- ・園内展示物を題材にしたショートストーリーの放映
- ・最新型デジタルサイネージやプロジェクターを用いた園内展示物等紹介

ヒストリウムシアター結(ゆい)



Ⅲ. 2014年度 通期見通し

1 期間損益(連結)

(単位: 億円)

	14年度 (見込)	13年度 (実績)	増 減	14年度 (計画)	増 減
営業収益	5,900	5,936	▲36	5,940	▲40
営業利益	500	560	▲60	520	▲20
経常利益	430	519	▲89	445	▲15
当期純利益	290	315	▲25	290	0
利益剰余金	1,385	1,156	229	1,367	18
営業利益ROA ※	3.2%	3.8%	▲0.6P	3.4%	▲0.2P
ROE ※	8.4%	9.7%	▲1.3P	8.4%	0P

※営業利益ROA=連結営業利益÷{(期首総資産+期末総資産)÷2}

※ROE=連結当期利益÷{(期首自己資本+期末自己資本)÷2}

※計画値は14年5月9日発表のものを使用している。(P32~P41)

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

2 キャッシュフロー計画(連結)

(単位: 億円)

	14年度 (見込)	13年度 (実績)	増 減	14年度 (計画)	増 減
EBITDA	1,019	1,087	▲68	1,046	▲27
(営業利益)	(500)	(560)	(▲60)	(520)	(▲20)
(減価償却費)	(519)	(527)	(▲8)	(526)	(▲7)
有利子負債残高	8,500	7,760	740	8,550	▲50
有利子負債/ EBITDA倍率	8.3(倍)	7.1(倍)	1.2P	8.2(倍)	0.1P
純工事額	1,643	501	1,142	1,636	7

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

3 セグメント別営業利益見込

(単位:億円)

	14年度	13年度	増 減	14年度	増 減
	(見込)	(実績)		(計画)	
運 輸	288 (3.4%)	301 (3.7%)	▲13 (▲0.3P)	297 (3.7%)	▲9 (▲0.3P)
レジャー	84 (4.8%)	121 (7.4%)	▲37 (▲2.6P)	114 (6.5%)	▲30 (▲1.7P)
不 動 産	89 (2.1%)	80 (2.0%)	9 (0.1P)	74 (1.6%)	15 (0.5P)
流 通	9 (0.9%)	15 (1.5%)	▲6 (▲0.6P)	6 (0.6%)	3 (0.3P)
そ の 他	36 (1.9%)	52 (2.9%)	▲16 (▲1.0P)	35 (1.8%)	1 (0.1P)

(各セグメント合計値と連結営業利益との差額:セグメント間取引等に関わる消去額)

(下段カッコ:営業利益ROA)

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

《運輸事業》

(単位:億円)

	14年度	13年度	増減	14年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	2,132	2,167	▲35	2,133	▲1
鉄道	1,586	1,600	▲14	1,591	▲5
その他	546	567	▲21	542	4
営業費用	1,844	1,866	▲22	1,836	8
鉄道	1,321	1,332	注1 ▲11	1,321	注2 0
その他	523	534	▲11	515	8
営業利益	288	301	▲13	297	▲9
鉄道	265	268	▲3	270	▲5
その他	23	33	▲10	27	▲4

主な増減要因

	14年度	13年度	増減	%	14年度	増減	%	
	見込	実績			計画			
乗車人員	定期外	310	312	▲2	▲0.5	312	▲2	▲0.5
	定期	573	582	▲9	▲1.7	572	1	0.1
	(特急※)	6	6	0	3.4	6	0	1.8
計	883	894	▲11	▲1.3	884	▲1	▲0.1	
運輸収入	定期外運賃	725	725	0	0.1	728	▲3	▲0.4
	特急料金	55	54	1	1.9	55	0	0.9
	定期運賃	639	656	▲17	▲2.6	642	▲3	▲0.4
計	1,419	1,435	▲16	▲1.1	1,425	▲6	▲0.4	

※乗車人員の特急は、定期外・定期人員の内数である。

注1 東武鉄道 鉄道業 動力費 +6
減価償却費 ▲16

注2 東武鉄道 鉄道業 物件費 ▲3
動力費 +4
減価償却費 ▲1

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

《レジャー事業》

(単位:億円)

	14年度	13年度	増減	14年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	799	752	47	837	▲38
ホテル	168	170	▲2	172	▲4
スカイツリー	167	196	▲29	191	▲24
その他	464	386	78	474	▲10
営業費用	715	631	84	723	▲8
ホテル	165	164	1	166	▲1
スカイツリー	101	101	0	105	▲4
その他	449	366	83	452	▲3
営業利益	84	121	▲37	114	▲30
ホテル	3	6	▲3	6	▲3
スカイツリー	66	95	▲29	86	▲20
その他	15	20	▲5	22	▲7

主な増減要因

※東京スカイツリー入場者数
 14年度見込 約530万人
 13年度実績 約619万人
 14年度計画 約597万人

その他のうち、トップツアー

	14年度	13年度	14年度
	見込	実績	計画
営業収益	164	64	164

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

《不動産事業》

(単位:億円)

	14年度	13年度	増減	14年度	増減
	(見込)	(実績)		(計画)	
営業収益	583	639	▲56	587	▲4
賃貸	341	349	▲8	343	▲2
タウン	128	130	▲2	129	▲1
分譲	114	160	▲46	115	▲1
営業費用	494	559	▲65	513	▲19
賃貸	230	281	注 ▲51	235	▲5
タウン	113	114	▲1	115	▲2
分譲	151	164	▲13	163	▲12
営業利益	89	80	9	74	15
賃貸	111	68	43	108	3
タウン	15	16	▲1	14	1
分譲	▲37	▲4	▲33	▲48	11

主な増減要因

		14年度	13年度	増減	14年度	増減
		見込	実績		計画	
販売戸数	戸建住宅	63	0	63	63	0
	マンション	417	580	▲163	428	▲11
持分換算後販売戸数	戸建住宅	63	0	63	63	0
	マンション	187	402	▲215	198	▲11

注

東武百貨店池袋店および船橋店
資産取得の影響

支払賃借料 ▲52
減価償却費 +8

※スカイツリータウン来場者数

14年度見込 約3,500万人
13年度実績 約3,927万人
14年度計画 約3,500万人

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

《流通事業》

(単位:億円)

	14年度	13年度	増減	14年度	増減	主な増減要因
	(見込)	(実績)		(計画)		
営業収益	2,083	2,078	5	2,098	▲15	注1 池袋店 ▲6 船橋店 ▲1 宇都宮店 ▲4 栃木店 +19 注2 池袋店 +1 船橋店 ▲6 宇都宮店 ▲1 栃木店 ▲1
百貨店	1,864	1,856	注1 8	1,871	注2 ▲7	
その他	219	222	▲3	227	▲8	
営業費用	2,074	2,063	11	2,092	▲18	
百貨店	1,863	1,851	12	1,875	▲12	
その他	211	212	▲1	217	▲6	
営業利益	9	15	▲6	6	3	
百貨店	1	5	▲4	▲4	5	
その他	8	10	▲2	10	▲2	

Ⅲ. 2014年度 通期見通し

《その他事業》

(単位:億円)

	14年度	13年度	増 減	14年度	増 減	主な増減要因
	(見込)	(実績)		(計画)		
営業収益	913	960	注 ▲47	887	26	注 決算期変更による影響 東武建設 ▲53 東武エナジーサポート ▲31 東武谷内田建設 ▲22
営業費用	877	908	▲31	852	25	
営業利益	36	52	▲16	35	1	

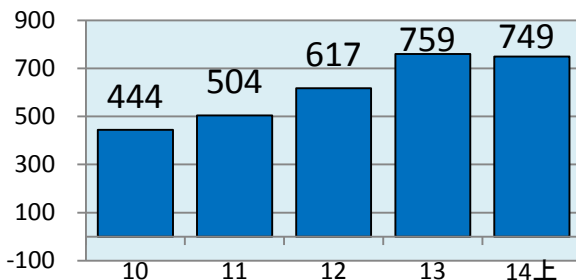
Ⅲ. 2014年度 通期見通し

4 鉄道単体

(単位:億円)

	13年度 第2四半期 (実績)	14年度第2四半期		増減		13年度 (実績)	14年度		増減	
		(実績)	(計画)	(対前年)	(対計画)		(見込)	(計画)	(対前年)	(対計画)
営業収益	1,085	1,079	1,083	▲6	▲4	2,294	2,226	2,235	▲68	▲9
営業費用	927	910	944	▲17	▲34	1,949	1,870	1,892	▲79	▲22
営業利益	158	169	140	11	29	345	356	343	11	13
経常利益	140	137	104	▲3	33	300	280	264	▲20	16
当期利益	99	102	89	3	13	202	192	197	▲10	▲5

(億円) 利益剰余金の推移



配当の状況

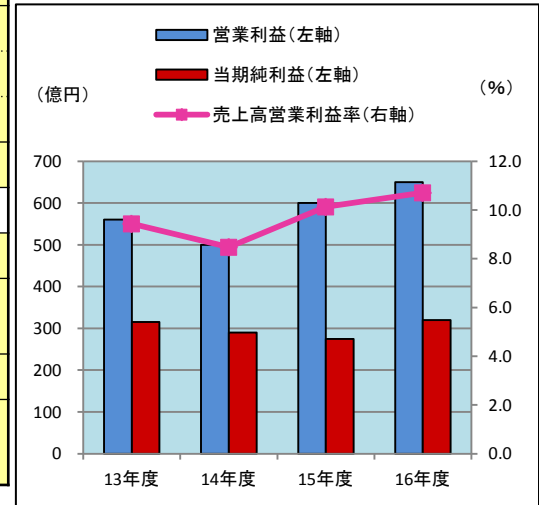
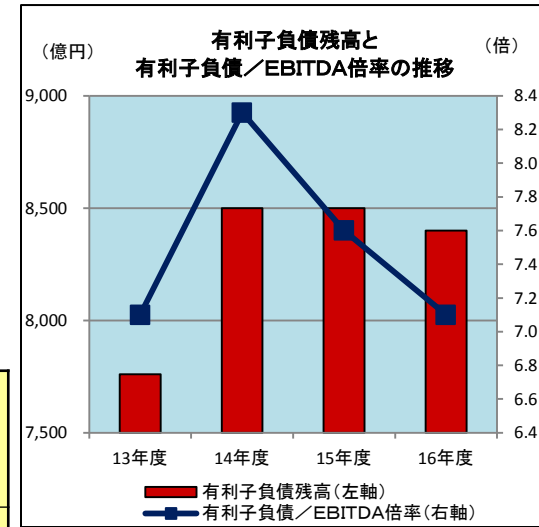
基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
14年3月期	3円00銭 (普通配当2円50銭) (記念配当50銭)	3円00銭 (普通配当2円50銭) (記念配当50銭)	6円00銭 (普通配当5円00銭) (記念配当1円00銭)
15年3月期 (予想)	3円00銭 (普通配当3円00銭)	3円00銭 (普通配当3円00銭)	6円00銭 (普通配当6円00銭)

(参考) 中期経営計画の進捗状況

16年度(最終年度)の連結目標数値



	13年度 実績	14年度 見込	14年度 中期経営 計画	差引	15年度 中期経営 計画	16年度 中期経営 計画
営業収益(億円)	5,936	5,900	5,940	▲40	5,925	6,070
営業利益(億円)	560	500	520	▲20	600	650
経常利益(億円)	519	430	445	▲15	485	535
当期純利益(億円)	315	290	290	0	275	320
売上高営業利益率(%)	9.4	8.5	8.8	▲0.3	10.1	10.7
減価償却費(億円)	527	519	526	▲7	521	527
EBITDA(億円)	1,087	1,019	1,046	▲27	1,121	1,177
有利子負債(億円)	7,760	8,500	8,550	▲50	8,500	8,400
有利子負債/ EBITDA倍率(倍)	7.1	8.3	8.2	0.1	7.6	7.1



東武グループ中期経営計画2014～2016

基本戦略

1

鉄道事業の利便性・安全性の向上

- ◇東武アーバンパークラインの利便性・快適性の向上
- ◇質の高い輸送サービスの提供
- ◇安全性の向上

2

東京スカイツリータウンの継続的な収益力強化

- ◇東京スカイツリータウン来場者の維持拡大
- ◇地域との連携によるエリア全体の活性化
- ◇東武グループ各社による収益拡大

3

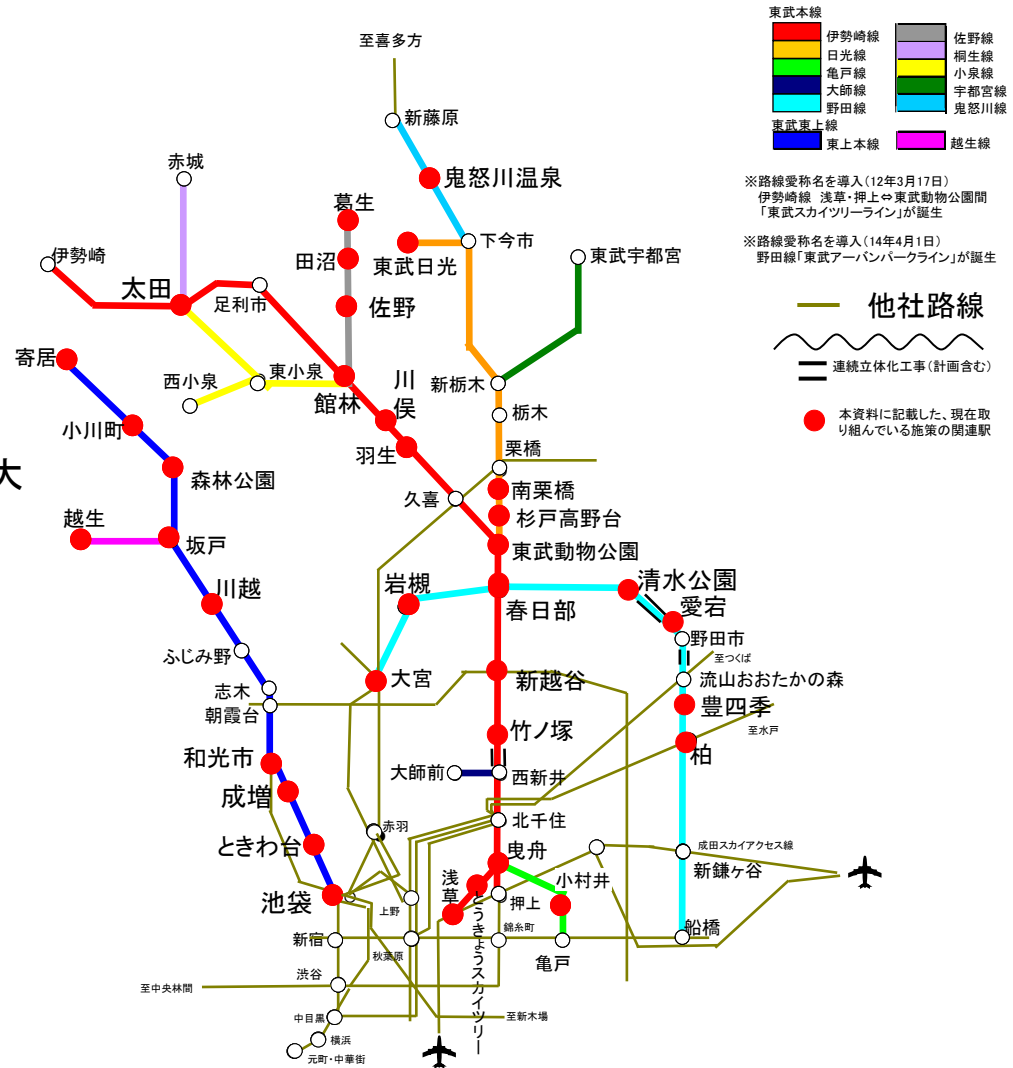
沿線の生活価値の向上

- ◇沿線拠点の強化
- ◇駅直結・駅スペースを活用した商業施設の魅力向上
- ◇定住化促進と生活支援事業の展開

4

観光戦略の展開

- ◇訪日外国人観光客向けサービスの拡充
- ◇日光・鬼怒川地区等沿線観光地の活力創出



当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。



東京スカイツリータウン来場者1億人突破記念イベントの様子

©TOKYO-SKYTREE